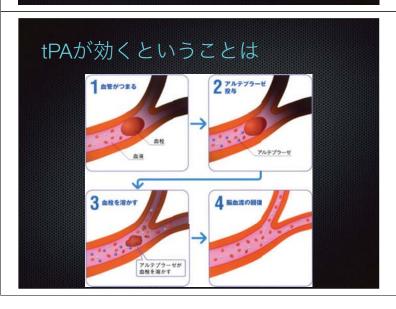
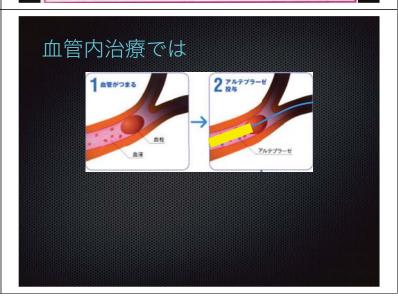


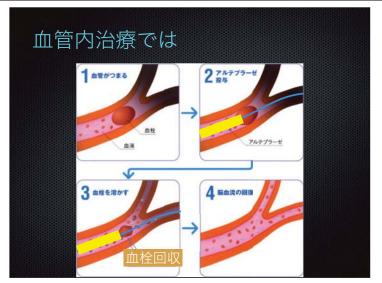
# 脳梗塞に対する 超急性期治療 <sup>脳神経外科</sup> 渡邊陽祐 武智昭彦 梶原佳則 落合淳一郎

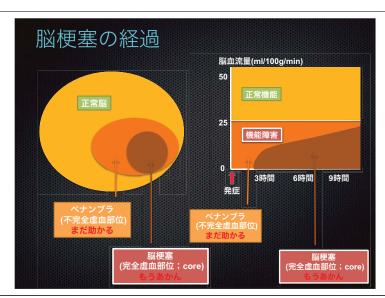
tpa & 加拉金色以為法

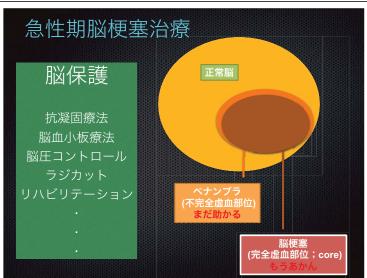
### 



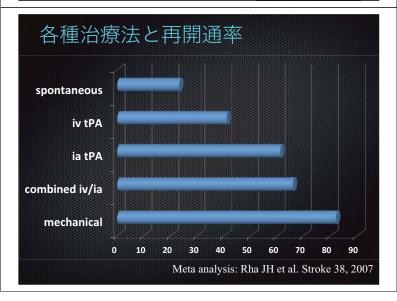














# iv tPAに関して

#### <Merit>

- ロ 搬入より短時間で治療可能である
- ロ 病型や原因に関係なく同じ方法で治療が可能である
- □ 多くの施設で施行可能である
- ロ その結果は施設や医師の間で大きな差はない

# iv tPAに関して

#### < Demerit >

- ロ 時間的な縛りや適応外項目により、全虚血症例 の10%以下にしか治療されず(報告では5~6% 程度)
- ロ 内頚動脈閉塞の再開通率は10%以下、中大脳動 脈近位部閉塞は25%以下で、予後が不良である

血管内治療の出番

# tPAの適応&適応外



### tPAの予後

**■ 治療後仕事も以前のとおりに出来る人 (mRS≦1)の** 

から1時間半以内に投与2 .5~3時間以内に投与1.64

とにかく少しでも早く投与することが

### 合併症

常 脳出血(2.5%)、消化管出血(0.7%)、肺出血(0.04%)、後腹

膜出血(0.03%)などの重篤な出血

症候性頭蓋内出血は5~20%と報告され、

3~10倍発生します

★ その他;脳梗塞(0.6%)、ショック(0.07%)、心タンポナ-

様々な出血をきたしますが、穿刺部の出血

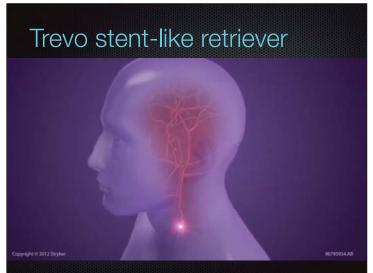
が非常に多いので注意が必要です

未満)、しゃっくり・紅斑(0.1%未満)

自由の表現の思









□ 適応:発症8時間以内の脳梗塞の内、ペナンブラ (まだ助かる領域)がある症例



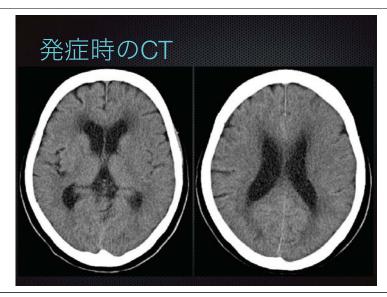
発症後4.5時間以内:iv-tPAを検討

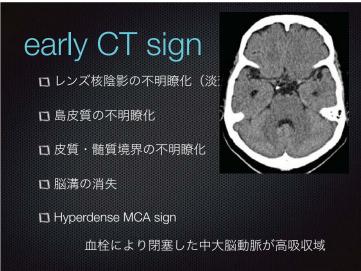
投与したが無効もしくは不適 応例で主幹動脈に閉塞あれば 血管内手術

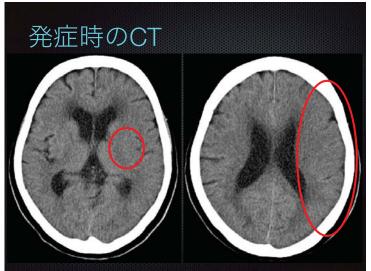


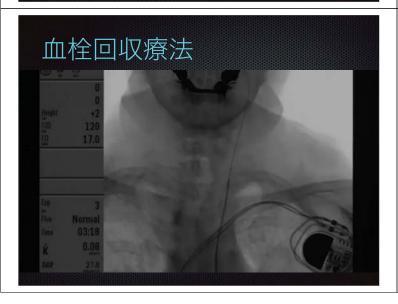
研究名	MR- CLEAN	ESCAPE	EXTEND- IA	SWIFT- PRIME	REVASCAT
有効 再開通	59%	72.4%	86%	88%	66%
転帰良好	32.6%	53%	71%	60.2%	28.2%
症候性頭 蓋内出血	7.7%	3.6%	0%	1%	1.9%
適応に	違いが	あるが、	半数程	度は予	後良好

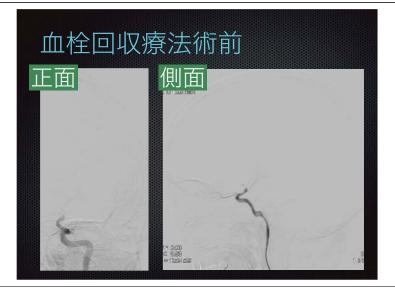


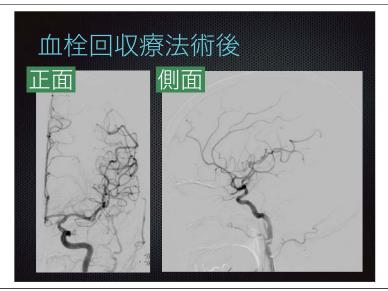


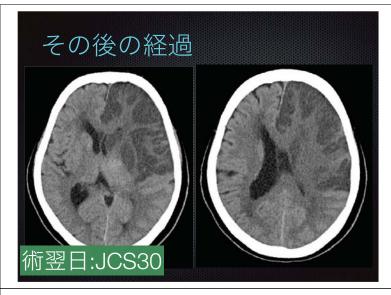


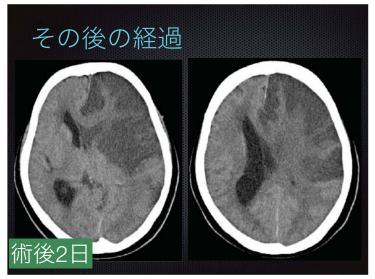


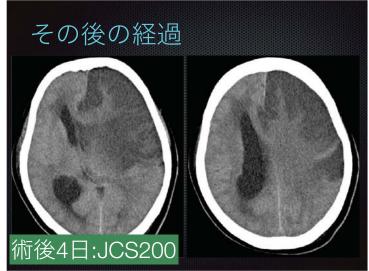


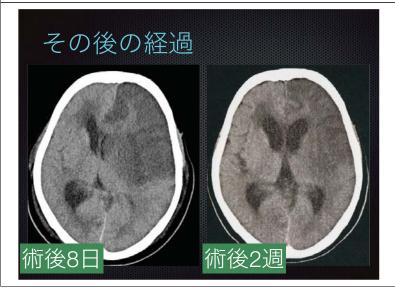


















# 頑張って

• iv-tPAまで60分

(Door to Needle time)

• 再開通まで90分

(Door to Reperfusion time)

脳卒中発症4時間30分以内 の症例に関してのお願い







